

## 小学生ティーボール交流大会競技規則

日本ティーボール協会のオフィシャル・ルールに準ずるが、一部大会特別ルールを採用する。  
なお、ボール、バット、バッティングティーは、主催者側にて準備する。

### 1 試合における申し合わせ事項

ティーボールの理念のもと、他人を思いやる気持ち、自ら考え、自ら行動できる選手を育成する大会とする。試合中の選手への暴言等のハラスメントは固く禁止します。

- (1) 小学3年生～6年生で編成されたチームとする。
- (2) ベンチ入りは代表者1名、指導者3名以内、選手登録15名以内とする。なお、登録選手は全員出場できるように配慮すること。
- (3) 塁間は16mとする。両翼は50m以上とし、HRラインは設定しない。
- (4) 使用球はティーボール11インチを使用する。グローブを使用すること。
- (5) 金属製スパイクは厳禁する。
- (6) 上着は同色を原則とする。指導者も同様とする。背番号は打順通り1から10の番号付きビブス(主催者が用意)を着用する。
- (7) 競技者は10名で全員打撃制(1インニングの攻撃で1番打者から10番打者までが必ず打撃を行う)ルールとし、1打者最大3スイングまでとする。残塁は次回に継続する。
- (8) メンバー表は不要とし、試合開始前にジャンケンにより先攻、後攻を決める。
- (9) 打つ前に走者が離塁すればアウト、スライディングや危険行為も原則アウトとする。
- (10) バント・軽打は禁止(ストライクと判断)、ファウルも3スイングでアウトとする。
- (11) 内野手又は捕手がボールを保持し、プレイが一段落したと審判が判断した時、「タイム」が入り、ボールをティー台に戻し、球審の「プレイ」のコールをもって再開する。
- (12) 予選ブロックは、1試合表裏2インニング制とし、対戦カード及び試合順序は組み合わせ表に準ずる。決勝トーナメントは、1試合3インニング制とする。(枠番の早いチームが一塁側ベンチとする。)
- (13) 決勝トーナメントは、最終回のインニング途中でも勝敗が決した時点で試合終了とする。
- (14) 球審の「プレイ」のコール後に、ティー台の調整や軸足の移動行為はストライクとする。
- (15) バッティングの際、軸足の移動は禁止とし、ストライクとする。
- (16) バッティングサークルからバットが直接出た場合やバットを放り投げた場合はアウトを宣告し、転がって出た場合はそのままインプレイとする。
- (17) タイムは1試合につき、攻撃、守備時において各1回とする。
- (18) 選手交代は、ビブスの交換をもって行う。守備位置の変更は原則として次打者が打席に入りプレイが開始されるまでに速やかに行うこと。
- (19) 最終バッターの暴走は安全上禁止する。ボールが内野に戻った時点で、審判は「タイム」をコールし、プレイを終了させる。
- (20) 試合中の選手への指導はベンチから行うこと。それ以外の場所でのコーチングは禁止とする。

(21) 試合進行のスピードアップのために、バットボーイは保護者が行ってもよい。また、ランナー  
コーチャーはつけない。

(22) ベンチ内では打順通りに整列し、打撃が終わり次第守備の準備を行う。

## 2 競技方法

### 【予選ブロック】

3チームによる総当たりとし、各ブロックの勝率第1位のチームが決勝トーナメントに出場できる。  
同率の場合は、得失点差によるものとする。得失点差が同じ場合は、総得点の多いチームが  
上位とする。

### 【決勝トーナメント】

競技規則は予選に準ずる。ただし、1試合3イニング制とする。

## 3 審判・記録員

審判・記録員は TTA 公認指導者が行う。

## 4 参加費

1チーム 5,000円とする。

## 5 傷害保険 主催者において傷害保険へ一括加入する。

## 6 申込方法

申込用紙に必要事項を記入のうえ、2023年8月10日(木)までにメールにて事務局まで提出  
してください。

参加費は、当日受付でお支払いください。

## 7 抽 選 事務局による代理抽選とする。

## 8 問い合わせ 徳島ティーボール協議会事務局

〒776-8588 吉野川市鴨島町内原432番地

鴨島病院内 徳島ティーボール協議会事務局長 吉田 浩通 山口 兼人

TEL:0883-24-6565 FAX: 0883-24-6572

E-mail:yoshida-hiro@t-group.net

## 9 その他

(1) 各自ゴミ袋を持参し、ゴミは会場から持ち帰るようお願いします。

(2) 会場内においては全面禁煙のご協力をお願いします。また、所定の駐車場への駐車をお願いします。

(3) 相手チーム及び審判に対する野次や暴言は一切禁止します。また、審判に対する確認につ  
いては、チーム代表(監督)のみが行うこととします。その内容はルールの誤った解釈に対す  
る確認のみとします。